

2015年、新年のお慶びを申し上げます。

明けましておめでとうございます。本年もよろしく願い申し上げます。

今年の抱負として、福岡県の活力を向上させ、住んでよかったと思える魅力ある郷土をつくりたいと思います。そのため、地域経済の活性化＝県内地場・中小企業者支援、新産業育成、起業・創業支援、海外展開支援などを進めて参ります。

また、福岡県はアジアのゲートウェイです。東アジア、ASEAN 諸国との経済交流をより深化させ、文化・学術・芸術などの分野でも人的交流を加速させたいと思います。

2015年は、何と云っても4月の「統一自治体選挙」です。 県知事、県議会議員、福岡市議会議員ともに改選を迎えるわけですが、引き続き「県政発展」に向けて尽力できるよう頑張ります。



↑1/1 平尾八幡宮「新年歳旦祭」

2015年は「メモリアル・イヤー」、過去に目を向ける機会です。

2015年は「メモリアル・イヤー」です。

まずは「戦後70年」です。そして、「朝鮮戦争開戦65年」、「日韓国交正常化50年」、「ベトナム戦争サイゴン陥落40年」でもあり、我が国にとってこれまでの70年がどのような歴史的意味を持つのか。平和の問題はもとより、経済、文化、生活の分野から、社会変遷を考える年となります。また、「日露戦争終結110年」でもあります。

そして、「日航ジャンボ機墜落事故から30年」、「阪神大震災20年」、「地下鉄サリン事件から20年」、「オウム真理教・麻原彰晃容疑者逮捕から20年」、「JR福知山線脱線事故から10年」。そして「プラザ合意から30年」、我が国の政治、経済、防災・防犯など、人々の暮らしを大きく変えた、左右した出来事もあり、これからの社会づくりについて考える年でもあります。

「阪神タイガース日本一から30年」でもあり、バス・掛布・岡田のクリーンナップによる爆発的な打線を武器に、阪神が活躍した懐かしい映像が流れるかもしれませんね。

小川知事とともに「県民幸福度日本一」の福岡県づくりに尽力します。



原中

小川知事

小川洋知事は『12月県議会』最終日の12月18日、本会議場において、来春の福岡県知事選挙に再選をめざし立候補することを正式に表明されました。

小川知事は、「経済活性化、雇用創出など、施策の効果は着実に上がってきたが、目標の達成は道半ば。これまでの施策に加え、少子化・人口減少問題対策などに取り組み、福岡県の一層の飛躍を図るべく、立候補することを決意した。」と述べられました。

「県民幸福度日本一」の福岡県をつくるため、ともにまい進して参ります！